

# つるせ西だより



～今月の特集～  
私、楽しく活動しています



富士見市★市制施行50周年

第174号(7・8月号)2022. 7. 1

編集: 鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行: 富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1

TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 44



パネルシアターに見入る子どもたち  
(5月26日 第1部 美術工芸室にて)

## 子ども食堂遊びコーナーの子どもたち

毎月1回、西交流センターの調理室を使って子ども食堂を開いています。今は感染を避けてお弁当作りですが、子どもたちにも喜んでもらいたいと苦心しています。

5月の子ども食堂開催時に、お弁当を持ち帰るだけでなく、『子どもたちが楽しめるいいな』と遊びコーナーを作ることになりました。図書館西分館の職員さん、ボランティアの方にもご協力をお願いし、2部に分かれて実施しました。大人の予想を大きく超えて、子どもたちが熱心に心から楽しんでくれていることが様子から分かりました。本の読み聞かせ、折り紙、竹とんぼ作り、こま作り、魚釣りゲームなど。パネルシアターでは、子どもたちとたこ焼きを作りました。

クリスマス会に次いで2回目の開催でしたが、こうした機会が増えるといいですね。  
(撮影/辻明氏・文/熊井編集委員)

## 編集委員募集中

「つるせ西だより」の編集委員を1人募集しています。一緒に紙面づくりをしませんか？

毎月第1・3金曜日午前10時～12時に和気あいあいと編集会議をしています。興味のある方、一度のぞいてみてください。

## 西だよりの感想を募集しています

西だよりを読んだ感想をお寄せください。詳しくは編集委員または西交流センター事務室まで。

## まちがどウォッチング

鶴瀬駅西口の変遷

我が家から駅まで、歩いて15分くらいかかります。昭和55年に西口が開通するまでは、踏切をこえて東口まで行く必要がありました。駅までは泥んこ道で、長靴をはいて通いました。また、当時は志木駅から鶴瀬駅までの間に駅がなく、とても長く感じました。

西口が開通し、その後、鶴瀬駅西通り線が整備され、鶴瀬西交流センターが開館しました。センターで近隣のサークルが活動し、大通りではよさこい祭りなどが賑やかに行われます。市制施行50周年、これからは街の中心として変わり続けていくと思います。

(菅戸)



鶴瀬駅西通り線